

テ第一義的ニ重要ナ役割ヲ演ジテキル。日本ニ於テハ全農家ノ二割
 (三八三六〇〇〇戸)ガ一ヘクター(約一町二十五步)以下ノ土地ヲ
 耕ス無力ナ貧農經營テアル。コレヲノ經營ノスベテガ東洋的ナ條
 件ノ下ニ地主カラ土地ヲ借リルコトヲ余儀ナクサレテキル。コノ際、
 最近五十年間(即チ丁度急速ナ資本主義的發展ノ期間)ニ地主ノ土地
 ノ面積ハ減少シナカッタバカリカ、反對ニ著シク増大シタ。即チ全耕
 作面積ニ對シテ三六%カラ四六%ヘ増大シタ。コノ半世紀ノ間ニ東洋
 的小作制度、半農奴制の搾取ハ農民ノ新層ニ續マツタバカリデナク
 一層重壓的ナ形態ヲトツタ。トイフノハ、最近數十年間ニ於ケル小作
 料ノ系統的ナ引上ヲ指シテキルノデアル。即チ一八八六年ノ小作料ノ
 率 $\frac{1}{10}$ 〇〇トナルナラバ、一九〇九—一九一三年ニハ一一三トナリ、
 一九一七—二一年ハ一一七ニ達シタ。

概シテ自分チハ農業生産ニタヅサヘラナイ日本ノ地主ハ小作農ノ繼
 收獲ノ五割カラ六割ヲ奪ツテキル。然シ日本農民ハ肩ニ單ニ地主ノ東

縛ヲ受ケテキルバカリデハナイ。ソノ上ニ商業、高利貸資本ノ法外ナ抑
 壓、低當債務ト、トラストノ獨占價格トニヨル狂暴ナ搾取ガ加ハツテ
 キル。コレヲノ條件ノ總計ノ中ニ、日ニ日ニ激シクナル日本農業ノ逼
 化、農民ノ基本的大衆ノ益々強マル窮民化、益々進ム國內市場ノ狹隘
 化、及ビソレト結ビツイテ増大スル全國民經濟ノ危機ノ根本原因ノ一
 ツヲ求メネバナラヌ。

サテ日本工業ノ特徵ノ觀察ニ移ラウ。最近三十年間ニ、日本ガソ
 ノ工業的發展ニ於テ非常ナ前進ヲ遂ゲタ事ハ疑ヒモナイ。巨大ナ鐵ノ
 コンツエレンノ形態ヘノ銀行資本ト産業資本トノ融合ヘ、博ニ最近數
 年ニ是れ大規模ニ達シタ。十八ノ獨占的結合ガ全國民所得ノ六五%ヲ
 左右シ、五大トラストガ事實上國ノ全經濟生活ヲ支配シテキル事實ハ
 周知ノ所デアル。

一層ノ原因ガ、日本ノ比較的急速ナ工業的發展ヲ助ケ、一掃リノ金
 礦王ノ手中ヘノ資本ノ是れ大ニ蓄積ト集中ヲ助ケタ。モノ點テ戰爭ガ特